

介護予防の推進に向けた運動器 疾患対策に関する検討会	
-------------------------------	--

平成19年7月13日	資料4
------------	-----

## 資料4：運動器疾患に関する現在の調査研究事業



最近の運動器疾患に関する主な厚生労働科学研究課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名*	額(千円)		
	16	17	18	19					1年目	2年目	3年目
①骨折・骨粗鬆症											
1		○	○	○	中村 博亮	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科科学	客員助教授	骨粗鬆症性椎体骨折の治療成績不良をもたらす因子の解明と効果的かつ効率的な治療法の確立－多施設共同前向き研究－	(H17) 16,000	(H18) 6,400	(H19) -
2		○	○	○	安藤 富士子	国立長寿医療センター研究所 疫学研究部	室長	生活習慣・背景要因・遺伝要因による総合的骨粗鬆症リスク診断システムの開発	(H17) 25,650	(H18) 23,892	(H19) -
3			○	○	原田 敦	国立長寿医療センター機能回復診療部	部長	大腿骨頸部骨折予防技術による施設介護高齢者の転倒恐怖緩和、生活機能及びQOLの維持・向上に関する研究	(H18) 13,800	(H19) -	
4			○	○	折茂 肇	健康科学大学	学長	骨粗鬆症性骨折の実態調査および全国的診療データベース構築の研究	(H18) 24,000	(H19) -	
5			○	○	萩野 浩	社団法人日本整形外科学会骨粗鬆症委員会	委員	全国調査に基づく高齢者骨折の発生及び治療実態に関する研究	(H18) 6,400	(H19) -	
6				○	阪本 桂造	昭和大学病院整形外科	員外教授	開眼片足起立時間による高齢者元気度区分と転倒・骨折調査、並びに片脚起立15秒以下の群に対する開眼片脚起立運動訓練による骨折予防への無作為化介入調査に関する研究	(H19) -		
7		○	○		阪本 桂造	昭和大学医学部整形外科教室	員外教授	開眼片脚起立運動訓練による大腿骨頸部骨密度の改善と維持の証明並びに筋力・バランス能の改善による転倒・骨折予防への介入調査	(H17) 27,000	(H18) 21,200	
8		○	○		大西 五三男	東京大学医学部付属病院 整形外科・脊椎外科	専任講師	超音波を用いた骨粗鬆症における骨強度評価装置の開発	(H17) 14,850	(H18) 10,497	
9		○	○		濃沼 信夫	東北大学大学院医学系研究科	教授	骨粗鬆症と骨折に対する予防対策の経済効果に関する研究	(H17) 9,000	(H18) 6,300	
10	○	○			萩野 浩	(社)日本整形外科学会 骨粗鬆症委員会	委員	老人骨折の発生・治療・予後に関する全国調査	(H15) 4,225	(H16) 3,280	(H17) 3,116
11	○	○			伊東 昌子	長崎大学医学部・歯学部附属病院	助教授	骨折リスク予測のための次世代型骨強度評価システムの開発	(H16) 9,000	(H17) 8,100	
12	○	○			高岡 邦夫	大阪市立大学大学院 医学研究科整形外科科学	教授	骨粗鬆症に伴う大腿骨頸部骨折の効果的かつ効率的予防に関する臨床研究	(H16) 13,000	(H17) 12,350	

最近の運動器疾患に関する主な厚生労働科学研究課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名*	額(千円)		
	16	17	18	19					1年目	2年目	3年目
13	○	○			松下 隆	帝京大学医学部整形外科	教授	高齢者の大腿骨頸部骨折後のADLの維持に關与する因子の解明と術後生活の自立を維持する治療法の確立	(H16) 22,000	(H17) 18,700	
14	○	○			原田 敦	国立長寿医療センター 機能回復診療部	部長	ヒッププロテクターによる介護施設の大腿骨頸部骨折予防研究-製品差の検討-	(H16) 19,500	(H17) 18,525	
15	○	○			永富 良一	東北大学 大学院医学系研究科	教授	転倒骨折予防運動訓練の効果改善プログラムの研究	(H16) 5,500	(H17) 5,225	
16		○	○	○	井上 聡	東京大学医学部附属病院 抗加齢医学講座	客員助教授	ゲノム医学を用いた骨粗鬆症ならびに変形性関節症疾患遺伝子の同定・機能解析とその診断・治療への応用 (1)	(H17) 40,000	(H18) 34,000	(H19) -
17		○	○	○	中村 耕三	東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科	教授	高齢者の大腿骨頸部骨折等の治療を支援する高精度手術支援システム開発研究 (2)	(H17) 56,000	(H18) 49,400	(H19) -
18	○	○	○		久保 俊一	京都府立医科大学大学院医学研究科運動器機能再生外科学	教授	特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究 (3)	(H16) 30,000	(H17) 30,000	(H18) 24,000
19	○	○	○		石見 佳子	独立行政法人国立健康・栄養研究所	栄養疫学プログラム生体指標プロジェクトリーダー	個体特性に着目した食品成分の骨粗鬆症に対する予防効果に関する研究 (4)	(H16) 3,500	(H17) 3,450	(H18) 3,450
20		○	○	○	越智 隆弘	独立行政法人国立病院機構相模原病院	院長	関節リウマチ・骨粗鬆症の重症化防止治療開発研究 (5)	(H17) 105,000	(H18) 101,000	(H19) -

最近の運動器疾患に関する主な厚生労働科学研究課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名*	額(千円)		
	16	17	18	19					1年目	2年目	3年目
②膝(股関節)											
21				○	川口 浩	東京大学医学部附属病院整形外科・脊椎外科	助教授	新しいマテリアル創製を基盤とする運動器疾患治療法の開発	(H19)~		
22				○	中村 耕三	東京大学医学部附属病院整形外科・脊椎外科	教授・副院長	超音波を用いた非侵襲膝関節軟骨3次元定量診断装置の開発に関する研究	(H19)~		
23				○	佐藤 正人	東海大学医学部外科学系整形外科	講師	変形性関節症の病態把握と治療効果判定を可能にする定量的機能診断システムの開発	(H19)~		
24		○	○		禰 史明	大阪市立大学大学院医学研究科	助手	ウェアラブル重心動揺測定装置を用いた人工関節置換術後早期リハビリ法の考案	(H17) 2,100	(H18) 1,680	
25	○	○			新飯田 俊平	国立長寿医療センター(運動器疾患研究部)	室長	骨及び関節疾患診断・治療薬の開発に関する研究	(H16) 18,000	(H17) 18,000	
26		○	○	○	中村 耕三	東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科	教授	変形性関節症の治療・予防の標的分子の同定とその臨床応用 (5)	(H17) 60,000	(H18) 62,000	(H19)~
27		○	○	○	中尾 一和	京都大学大学院医学研究科	教授	骨・軟骨・関節疾患を標的としたCNP-guanylyl cyclase-B systemのトランスレーショナルリサーチ (6)	(H17) 38,500	(H18) 36,046	(H19)~
28		○	○	○	高取 吉雄	東京大学医学部附属病院整形外科・脊椎外科	助教授	長寿命型人工関節の臨床応用推進に関する研究 (7)	(H17) 68,016	(H18) 36,046	(H19)~

最近の運動器疾患に関する主な厚生労働科学研究課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名*	額(千円)		
	16	17	18	19					1年目	2年目	3年目
③腰											
29			○	○	中村 利孝	産業医科大学整形外科学	教授	高齢者の腰痛に及ぼす脊柱変性、生活習慣要因および生活習慣病の影響と相互作用の解明	(H18) 16,000	(H19) -	
30			○	○	戸山 芳昭	慶應義塾大学医学部整形外科学教室	教授	高齢者の腰痛症に係る効果的な診断・治療・リハビリテーション等の確立	(H18) 24,000	(H19) -	
31	○	○			中村 利孝	産業医科大学医学部	教授	高齢者の脊柱変形と躯幹短縮による生活機能低下の実態の解明と予防法の開発	(H16) 12,740	(H17) 12,740	
32	○	○			戸山 芳昭	慶應義塾大学医学部 整形外科学教室	教授	高齢者の腰痛に係るより効果的勝率的な診断、治療、介護及びリハビリテーション等の確立に関する研究	(H16) 23,840	(H17) 22,140	
33			○	○	神代 雅晴	産業医科大学産業生態科学研究所健康評価・作業管理部門人間工学研究室	教授	腰痛発症リスクステージ評価ツールの開発と腰痛防止手法エキスパートシステムの構築 (8)	(H18) 3,000	(H19) -	
34	○	○			神代 雅晴	産業医科大学産業生態科学研究所人間工学研究室	教授	職場における腰痛防止の為の作業姿勢負担評価チェックリストの開発 (8)	(H16) 6,139	(H17) 12,640	

最近の運動器疾患に関する主な厚生労働科学研究課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名*	額(千円)		
	16	17	18	19					1年目	2年目	3年目
④その他(介護予防に関するものを含む)											
35		○	○	○	安村 誠司	福島県立医科大学医学部公衆衛生講座	教授	地域支援事業における体力向上サービスの在り方に関する研究	(H17) 7,650	(H18) 6,502	(H19) -
36		○	○	○	大川 弥生	国立長寿医療センター研究所 生活機能賦活研究部	部長	生活機能向上にむけた介護予防サービスのあり方及び技術に関する研究-「廃用症候群(生活不活発病)モデル」を中心に	(H17) 29,300	(H18) 22,125	(H19) -
37			○	○	安井 夏生	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部感覚運動系病態医学講座運動機能外科学教室	教授	高齢者における廃用症候群(生活不活発病)の実態調査と生活機能向上のための運動療法の開発	(H18) 9,000	(H19) -	
38			○	○	山下 和彦	東京医療保健大学 医療保健学部	講師	虚弱高齢者の歩行維持の機能的評価システムの開発に関する研究	(H18) 3,370	(H19) -	
39			○	○	鳥羽 研二	杏林大学医学部高齢医学教室	教授	効率的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究	(H18) 27,300	(H19) -	
40			○	○	田村 俊世	国立大学法人千葉大学 工学部メディカルシステム工学科	教授	高齢者の転倒予防に関する研究	(H18) 10,500	(H19) -	
41		○	○		越智 隆弘	日本整形外科学会	理事長	高齢者の運動機能低下評価法と回復運動療法開発研究	(H17) 30,000	(H18) 24,820	
42	○	○			新野 直明	桜美林大学(大学院)	教授	高齢者における効果的な転倒予防活動事業の推進に関する研究	(H15) 8,000	(H16) 6,004	(H17) 5,703
43	○	○			大淵 修一	(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所 介護予防緊急対策室	室長	介護予防筋力向上トレーニングの効果の検討	(H16) 15,540	(H17) 6,460	
44	○	○			鳥羽 研二	杏林大学医学部 高齢医学教室	教授	寝たきりの主要因に対する縦断介入研究を基礎にした介護予防ガイドライン策定研究	(H16) 31,672	(H17) 30,603	
45	○	○			岡本 連三	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部	教授	高齢転倒経験者における介護予防対策の費用対効果に関する研究 (9)	(H16) 3,100	(H17) 3,465	
46		○	○	○	中村 耕三	東京大学医学部附属病院整形外科・脊椎外科	教授	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 (3)	(H17) 30,000	(H18) 49,000	(H19) -

## 注

\* 補助金の種類を下記に記す。()がない課題は長寿科学総合研究

- (1) 厚生科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 ヒトゲノム・再生医療等研究【ヒトゲノム遺伝子治療研究】
- (2) 厚生科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 身体機能解析・補助・代替機器開発研究
- (3) 厚生科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患克服研究
- (4) 厚生科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 政策創薬総合研究
- (5) 厚生科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 免疫アレルギー疾患予防・治療研究
- (6) 厚生科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 ヒトゲノム・再生医療等研究【再生医療研究】
- (7) 厚生科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 基礎研究成果の臨床応用推進研究
- (8) 厚生科学研究費補助金 健康安全確保総合研究 労働安全衛生総合研究
- (9) 厚生科学研究費補助金 行政政策研究分野 政策科学推進研究



最近の運動器疾患に関する主な文部科学省科学研究費補助金課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名	額(千円)			
	16	17	18	19					初年度	次年度	第三次年度	第四次年度
①骨折												
1	○	○			梶田 悦子	名古屋大学医学部	教授	地域高齢者の大腿骨頸部折予防のための地域看護モデルの構築	(H15) 1,300	(H16) 800	(H17) 900	
2	○	○			高垣 裕子	神奈川歯科大学歯学部	助教授	加齢に伴って骨折治癒がCOX-2由来のPGE <sub>2</sub> 依存性となるメカニズム	(H16) 1,800	(H17) 1,200		
3				○	山田 晃司	藤田保健衛生大学衛生学部	講師	振盪振動刺激による骨密度上昇と筋量増加による骨折予防効果	(H19) 800			
4				○	出村 慎一	金沢大学教育学部	教授	高齢者の転倒による大転子骨折予防のためのエアバッグ式ヒッププロテクターの開発	(H19) 1,300			
5			○	○	岡田 純也	長崎大学医歯(薬)学総合研究科	講師	大腿骨頸部骨折の家族に対するガイドラインの作成に関する研究	(H18) 300	(H19) 100		
6			○	○	池田 行宏	近畿大学医学部付属病院	講師	踵骨超音波指標を用いて骨折リスクの評価ができるか:7年間追跡調査による検討	(H18) 2,200	(H19) 900		
7			○	○	森田 明美	国立健康・栄養研究所	研究員	骨折テラーメイド予防のために大規模コホートで遺伝-生活習慣相互作用を解明する	(H18) 2,900	(H19) 910		
8		○	○		武藤芳照	東京大学大学院教育学研究科	教授	高齢者の転倒・骨折・介護予防のための運動処方・生活指導・教育プログラムの検討	(H17) 6,500	(H18) 4,300		
9		○	○		テイ カンショウ	東北大学大学院医学系研究科	助手	骨粗鬆症の医療経済とその社会的負担に関する研究	(H17) 1,000	(H18) 400		
10			○	○	伊木 雅之	近畿大学医学部	教授	大規模無作為標本コホート十年追跡による骨折の絶対リスクに基づく予防介入閾値の設定	(H18) 8,900	(H19) 6,370		
11		○	○	○	宗正 みゆき	日本赤十字広島看護大学看護学部	講師	大腿骨頸部骨折手術後の高齢者の回復過程における介護支援に関する研究	(H17) 900	(H18) 700	(H19) 910	
12		○	○		村上 英樹	金沢大学医学部付属病院	助手	骨粗鬆性脊椎骨折の力学解析-椎対骨折はどのようにして生じるのか-	(H17) 2,800	(H18) 500		
13		○	○	○	中村 和利	新潟大学医歯学系	助教授	骨折をアウトカムとして行う骨粗鬆症の遺伝および環境リスク要因の解明	(H17) 2,200	(H18) 700	(H19) 910	

最近の運動器疾患に関する主な文部科学省科学研究費補助金課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名	額(千円)			
	16	17	18	19					初年度	次年度	第三年度	第四年度
14		○	○		山田 和彦	独立行政法人国立健康・栄養研究所食品表示分析規格研究部	部長	男性の骨粗鬆症・骨折の予防を目的とした運動と食品成分の併用効果に関する研究	(H17) 1,800	(H18) 1,700		
15		○	○	○	岡西 哲夫	藤田保健衛生大学衛生学部	教授	大腿骨頸部骨折の帰結の予測に影響する運動学習と再転倒予防レディネスの効果	(H17) 2,800	(H18) 700	(H19) 390	
16		○	○	○	青柳 潔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	脆弱性骨折と骨代謝マーカーの生理的多型性が日常生活動作と早期死亡に及ぼす影響	(H17) 7,540	(H18) 7,280	(H19) 6,110	
17		○	○	○	豊島 良太	鳥取大学医学部	教授	関節リウマチに合併する骨粗鬆症の予防・治療の確立	(H17) 1,600	(H18) 1,000	(H19) 650	
18		○	○		小野寺 伸	北海道大学大学院理学研究科	学術研究員	閉経後骨粗鬆症におけるMIFの関与とMIF-DNAワクチンによる予防効果の検討	(H17) 2,100	(H18) 1,200		
19	○	○	○		山本 正治	新潟大学医歯学系	助教授	骨粗鬆症予防における非活性ビタミンDの役割	(H16) 2,100	(H17) 800	(H18) 500	
20	○	○			荒井 勝光	新潟大学医歯学総合病院	講師	関節リウマチと骨粗鬆症、骨髄間葉系幹細胞の分化能の検討	(H16) 1,600	(H17) 1,600		
21	○	○			井樋 栄二	秋田大学医学部	講師	骨粗鬆症治療薬の実験骨粗鬆症に対する組織学的・生化学的検討	(H16) 600	(H17) 800		
22	○	○	○		吉村 典子	東京大学医学部付属病院寄付講座	客員助教授	骨粗鬆症リスクの個人評価プログラムの開発とその応用に関する研究	(H16) 1,600	(H17) 1,100	(H18) 800	
23	○	○	○		星 眞二郎	東京大学医学部付属病院	助手	オーダーメイド医療をめざした骨粗鬆症治療薬選択法の開発	(H16) 2,600	(H17) 2,400		

最近の運動器疾患に関する主な文部科学省科学研究費補助金課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名	額(千円)					
	16	17	18	19					初年度	次年度	第三次年度	第四次年度		
②膝														
24				○	岡 浩一朗	早稲田大学スポーツ科学学術院	助教授	膝痛を有する中高齢者における痛み自己管理モデルの構築に関する行動科学的的研究	(H19) 2,340					
25				○	谷村 千華	鳥取大学医学部	助手	変形性膝関節症患者のセルフケア及びQOLを高めるための教育プログラムの構築	(H19) 700					
26				○	岡 敬之	東京大学医学部付属病院		高解像度MRIを用いた変形性膝関節症の早期診断システムの開発	(H19) 1,900					
27				○	小林 雅彦	京都大学医学系研究科研究院	助手	変形性膝関節症に対する機能的電気刺激による関節軟骨保護作用の可能性	(H19) 2,730					
28			○	○	平田 総一郎	神戸大学医学部	助教授	地域在宅高齢者の転倒予防法の開発-変形性膝関節症と認知障害の影響を考える-	(H18) 1,400 (H19) 1,040					
29		○	○		下条 竜一	富山大学医学部	助手	人口膝関節置換術後の膝関節動態と膝蓋腱内応力の解析	(H17) 1,800 (H18) 1,000					
30		○	○	○	赤城 将男	近畿大学医学部	助教授	高脂血症が変形性膝関節症の進行に与える影響について	(H17) 2,900 (H18) 500 (H19) 390					
31		○	○		黒澤 尚	順天堂大学医学部	教授	変形性膝関節症に対する運動療法の有効性とその自然経過: SNPによる解析	(H17) 2,900 (H18) 100					
32	○	○	○		中村 耕三	東京大学医学部付属病院	教授	分子生物学的手法を用いた変形性関節症の病態解明と治療法の開発に関する戦略研究	(H15) 16,250 (H16) 11,570 (H17) 11,960 (H18) 9,750					

最近の運動器疾患に関する主な文部科学省科学研究費補助金課題一覧

NO.	実施年度(平成)				主任研究者	所属機関	職名	研究課題名	額(千円)			
	16	17	18	19					初年度	次年度	第三次年度	第四次年度
③腰												
33				○	阿部 由美子	富山大学大学院	助手	神経成長因子による腰痛発症の解明とその制御による治療法の開発	(H11)	1,400		
34				○	千葉 一裕	慶應大学医学部	助教授	退行変性性腰痛症に対する新たな治療法開発に関する基礎的研究	(H19)	2,860		
35			○		三浦 篤義	大分大学工学部	技術職員	腰痛予防のための圧力センサを用いた脊柱模型の学習装置	(H18)	610		
36			○	○	土井田 稔	神戸大学医学系研究科研究院	助教授	治療遺伝子を用いた腰痛に対する低侵襲治療システムの開発	(H18)	4,800	(H19)	5,330
37		○	○		芝田 京子	高知工科大学工学部	講師	脊柱彎曲に着目した人体座位モデル構築による腰痛防止のための姿勢制御システムの開発	(H17)	2,100	(H18)	1,300
38		○	○		千葉 一裕	慶應大学医学部	助教授	椎間板変性抑制による新たな腰痛治療法開発に関する基礎的研究	(H17)	2,300	(H18)	1,200